

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	群馬	上旬は作型の端境期となり出荷量がやや減少するが、12～1月は天候が安定し日照時間も多いため、生育は順調。病害虫等の発生も特に見られない。	<p>現状</p> <p>1月上旬は、年末に遅れていた品物がややあり、相場は下げ基調。台湾産も本格的に出荷が開始し、数量も纏まり始めた状況。色目によってはやや軟調な展開。 中旬以降は寒気も入り、国産の品物が減ると相場は戻ってくる。</p>
	大分	12月出荷予定が大幅に出荷遅れ。約35万本が2月中の出荷になる見込み。出荷規格は秀品4割・優品6割の見込み。	<p>見通し</p> <p>大田花き 厳寒期に入り国産の品物が減ると、相場は頭の品物から堅調に推移する見通し。台湾産も数量が旧正月で落ち着くと、安定した販売となる。</p>
	宮崎	10月の台風で冠水被害のあったほ場でたんそ病等の発生が見られたが、現在は生育良好。規格は80cm中心でボリュームも良好。出荷については、3月に向けて徐々に出荷量がまとまる見込み。	<p>FAJ 週末宴会需要など安定した相場での取引続く。栃木・熊本主体の入荷。</p> <p>東日本板橋花き 熊本県・高知県・北関東中心の入荷。急増はせずに横ばいの入荷量。</p>
	沖縄	生育は概ね順調に推移している。2月中旬まで少なめの出荷であったが、下旬から増加する見込み。	<p>世田谷花き 開花させるのが、一番難しい時期で、国内産の入荷減る。台湾産は春節の時期以外はコンスタントにありそう。</p>
			<p>東京フラワーポート 国産は昨年以上の入荷見込み。</p>
バラ	群馬	12月以降は晴天が多く、一方で冷え込みにより天窓などが開かないため、環境制御を行っているハウスでは炭酸ガスや湿度が確保され生育は順調。病害虫等の発生は特に見られない。	<p>現状</p> <p>国産は各産地、低温・日照不足の影響により出荷量が少なかったが、需要も落ち着いた状況。但し、31日の愛妻の日に向けては、STD赤・濃いピンクの需要が見込まれる。</p>
	大分	重油高騰にて限られたハウスのみ加温することで数量については大幅に減少する見込み。	<p>見通し</p> <p>大田花き 引き続き、入荷量に大きな増減は無い。3連休のブライダル需要やバレンタインに向けた需要が見込まれる。バレンタインもSTD赤・濃いピンクメインの需要となる。</p> <p>FAJ フラワーバレンタインと週末婚礼需要で需要回復の見込み。出荷数量は平年並み。</p>
			<p>東日本板橋花き 出荷産地は変わらず、入荷量は横這いの見込み。バレンタインとブライダル需要中心の動きで、下旬ごろより卒業式と年度末需要の動きが徐々に始まる見込み。</p> <p>世田谷花き 引き続き入荷は少ない。堅調な相場になりそう。</p> <p>東京フラワーポート 国産若干少なめの見込みだがバレンタインに合わせ輸入物の入荷増が見込まれる。</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	千葉	<p>①1月の寒波により生育は停滞しており、一部で若干の遅れが見られる。今後、春日が続けば回復する可能性もある。</p> <p>②西岬はアイアン(ST)中心で、その他はカルテット・シリーズ(SP)が中心。</p>	<p>現 状 上旬は寒さの影響もあり数量少なく、昨年より高い価格で推移した。中旬以降は数量が増加し、価格面でも落ち着いた取引となった。</p> <p>見通し</p>
			<p>大田花き 天候次第で出荷量は異なるが、昨年のような大きなピークはなく、ある程度落ち着いた価格帯で推移する見通し。</p> <p>FAJ 千葉主体の入荷。数量は平年並みを予想も今後の天候次第。安定した相場が見込まれる。</p> <p>世田谷花き 主に千葉からの各色潤沢に入荷。相場も落ち着きそう。</p> <p>東京フラワーポート 生育遅れの物が増加してくるが露地物は少ない。</p>